

STB(セットトップボックス)重要確認事項

STB(セットトップボックス)重要確認事項

録画について

- 当社は、お客様に貸与した「STB(セットトップボックス)」(以下、本機)で外付けUSB-HDD(ハードディスク)(以下、外付けUSB-HDD)を利用して、録画・録音された内容が消失した場合、機器や放送の不具合等、いかなる場合であっても一切の補償をいたしません。
- 外部機器(LAN、外付けUSB-HDD等)は、お客様にて準備・接続・設定をお願いします。当社にて設定をご希望される場合は、有料となります。
- 外付けUSB-HDDを本機に接続して録画用として登録すると、本機の外付けUSB-HDDとしてフォーマット(初期化)しますので、それまで外付けUSB-HDDに保存していたデータはすべて消去されます。
- ご解約の際には当社および当社が指定する業者より、本機を撤去・回収いたします。また、故障の際には本機を交換する場合がございます。本機を回収、交換した場合は外付けUSB-HDDに記録された内容は消失いたします。また、転居後継続してご契約いただける場合について本機機の交換が必要な場合は、外付けUSB-HDDに記録された内容は消失いたしますのでご了承ください。
- 「デジタルコピー不可」の番組は録画できません。
- 「1回だけデジタルコピー可能」の番組を外付けUSB-HDDに録画した場合、レコーダーへダビングすることはできません。
※録画内容を恒久的に保存したい場合は、記録メディア等に保存することをおすすめします。
- 「ダビング10可能」な番組を外付けUSB-HDDに録画した場合、LAN接続されたデジタル録画機器にはダビング9回ムープ1回が可能です。ダビングされた番組をLAN接続された録画機へムープは可能ですが、再度ダビングすることはできません。LAN接続可能な機器については、お問い合わせください。
- LAN録画を実行する場合は、有線LANでのネットワーク接続をご使用ください。無線LANまたはPLCでのネットワーク接続では、LAN録画が正常に実行されない場合があります。
- 動作保証の外付けUSB-HDDについてはお問い合わせください(Panasonicのホームページでもご確認いただけます)。

機器の取り扱いについて

- 本機の分解・改造は絶対に行わないでください。分解・改造が判明した場合は、機器損害金を請求いたします。また、故意での故障対応も同等とします。
- 本機をご解約される場合は、解約費用が発生し、ただちに本機と付属品をご返却いただきます。ご返却がない場合は、機器損害金を請求いたします。

無線LANについて

- ホームネットワーク機器を利用した録画・再生は、有線での接続をおすすめします。無線LAN接続での動作は保証していません。
- 本機と他の無線機器との接続環境によっては、通信速度が遅くなる場合があります。
- 別途、本機との接続に対応したアクセスポイント(無線ブロードバンドルータ)が必要です。
- IEEE802.11n(2.4GHz / 5GHz同時使用可)のアクセスポイントをお選びください。無線LAN接続に関しては、電波状況により接続できない場合があります。その場合は有線で接続してください。
- アクセスポイントは、WPS対応であることを確認してください(WPSに対応していない場合は、設定の際にアクセスポイントの暗号キーが必要になります)。
- 通信内容の傍受、不正利用、なりすまし等を防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化設定)を行ってください。
- アクセスポイントの無線方式を切り換えた場合は、無線LANで接続できていた機器(パソコン等)が接続できなくなる場合があります。
- 電波障害が発生する場合がありますので、電波を使う機器から離れてご利用ください(例:電子レンジ等)。
詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

楽見録DX(デラックス)重要確認事項

録画について

- 当社は、お客様に貸与した「楽見録DX(デラックス)」(以下、本機)で内蔵ハードディスク(以下、内蔵HDD)や外付けUSB-HDD(ハードディスク)(以下、外付けUSB-HDD)を利用して、録画・録音された内容が消失した場合、機器や放送の不具合等、いかなる場合であっても一切の補償をいたしません。
- 外部機器(LAN、外付けUSB-HDD等)は、お客様にて準備・接続・設定をお願いします。当社にて設定をご希望される場合は、有料となります。
- 外付けUSB-HDDを本機に接続して録画用として登録すると、本機の外付けUSB-HDDとしてフォーマット(初期化)しますので、それまで外付けUSB-HDDに保存していたデータはすべて消去されます。
- ご解約の際には当社および当社が指定する業者より、本機を撤去・回収いたします。また、故障の際には本機を交換する場合がございます。本機を回収、交換した場合は、内蔵HDD・外付けUSB-HDDに記録された内容は消失いたします。また、転居後継続してご契約いただける場合について本機機の交換が必要な場合は、内蔵HDD・外付けUSB-HDDに記録された内容は消失いたしますのでご了承ください。
- 「デジタルコピー不可」の番組は録画できません。
- 「1回だけデジタルコピー可能」の番組を外付けUSB-HDDに録画した場合、レコーダーへダビングすることはできません。
※録画内容を恒久的に保存したい場合は、記録メディア等に保存することをおすすめします。
- 「ダビング10可能」な番組を外付けUSB-HDDに録画した場合、LAN接続されたデジタル録画機器にはダビング9回ムープ1回が可能です。ダビングされた番組をLAN接続された録画機へムープは可能ですが、再度ダビングすることはできません。LAN接続可能な機器については、お問い合わせください。
- LAN録画を実行する場合は、有線LANでのネットワーク接続をご使用ください。無線LANまたはPLCでのネットワーク接続ではLAN録画が正常に実行されない場合があります。
- リモート録画予約をご利用される場合は、本機をインターネットへ接続する必要があります。
- 動作保証の外付けUSB-HDDについてはお問い合わせください(Panasonicのホームページでもご確認いただけます)。

機器の取り扱いについて

- 本機の分解・改造は絶対に行わないでください。分解・改造が判明した場合は、機器損害金を請求いたします。また、故意での故障対応も同等とします。
- 本機をご解約される場合は、解約費用が発生し、ただちに本機と付属品をご返却いただきます。ご返却がない場合は、機器損害金を請求いたします。

無線LANについて

- 本機はホームネットワーク機能を搭載し、サーバとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。各機器との接続はLANケーブルまたは無線LANで接続してください。ホームネットワーク機能を利用した録画・再生は、有線での接続をおすすめします。無線LAN接続での動作は保証していません。
- 本機と他の無線機器との接続環境によっては、通信速度が遅くなる場合があります。
- 別途、本機との接続に対応したアクセスポイント(無線ブロードバンドルータ)が必要です。
- IEEE802.11n(2.4GHz / 5GHz同時使用可)のアクセスポイントをお選びください。無線LAN接続に関しては、電波状況により接続できない場合があります。その場合は有線で接続してください。
- アクセスポイントは、WPS対応であることを確認してください(WPSに対応していない場合は、設定の際にアクセスポイントの暗号キーが必要になります)。
- 通信内容の傍受、不正利用、なりすまし等を防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化設定)を行ってください。
- アクセスポイントの無線方式を切り換えた場合は、無線LANで接続できていた機器(パソコン等)が接続できなくなる場合があります。
- 電波障害が発生する場合がありますので、電波を使う機器から離れてご利用ください(例:電子レンジ等)。
詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

リモート視聴機能について(対象機種:HD T621PW)

- ご利用には、本機をインターネットへ接続する必要があります。
- インターネットプランが低速プランの場合、接続が不安定となり視聴映像が途切れる可能性がありますので、高速プランでの接続をおすすめします。
- お使いの携帯電話回線およびネットワーク環境によっては、視聴映像が途切れる可能性があります。正しく視聴できない場合があります。
- ご利用のルータ、モデム、ハブなどの設定には、パソコンが必要となる場合があります。ルータの接続、設定方法についてご不明な場合は、ルータの取扱説明書等をご確認ください。
- 宅内視聴も宅外視聴も、同時に接続可能なスマートフォン・タブレットの台数は1台です。2台以上の同時接続はできません。
- リモート視聴のご利用に関して、通信回線(3G、LTE等)をご利用される場合は、各携帯電話会社でのパケット通信料が発生いたします。ご利用状況によってはパケット通信速度の制限や高額な通信料の請求が発生する場合がございます(当社ではパケット利用に関する金額補償等は一切いたしません)。
- 地上デジタル放送、BSデジタル放送は「放送転送」録画番組転送」に対応(視聴方法が本機経由のものに限ります)。KCNファミリーチャンネル、KCNスポーツ&カルチャー、WOWOW、スターチャンネル、CSデジタル放送は「放送転送」はできません。「録画番組転送」のみの対応となります。
- 録画した番組をSDカードによる持ち出しはできません。

ブルーレイ楽見録DX(デラックス) 重要確認事項

■録画について

- 当社は、お客様に貸与した「ブルーレイ楽見録DX(デラックス)」(以下、本機)で内蔵ハードディスク(以下、内蔵HDD)や外付けUSB-HDD(ハードディスク)(以下、外付けUSB-HDD)を利用して、録画・録音された内容が消失した場合、機器や放送の不具合等、いかなる場合であっても一切の補償をいたしません。
- 外部機器(LAN、外付けUSB-HDD等)は、お客様にて準備・接続・設定をお願いします。当社にて設定をご希望される場合は、有料となります。
- 外付けUSB-HDDを本機に接続して録画用として登録すると、本機の外付けUSB-HDDとしてフォーマット(初期化)しますので、それまで外付けUSB-HDDに保存していたデータはすべて消去されます。
- ご解約の際には当社および当社が指定する業者より、本機を撤去・回収いたします。また、故障の際には本機を交換する場合がございます。本機を回収、交換した場合は、内蔵HDD・外付けUSB-HDDに記録された内容は消失いたします。また、転居後継続してご契約いただける場合についても本機の交換が必要な場合は、内蔵HDD・外付けUSB-HDDに記録された内容は消失いたしますのでご了承ください。
- 本機は外部録画機への出力端子(i.Link端子を除く)はございません。
- 「デジタルコピー不可」の番組は録画できません。
- 本機では、内蔵HDD、外付けUSB-HDD、ディスクの間でダビングを行うことができます(内蔵HDDと外付けUSB-HDD間はムーブ(移動)のみ、また、ブルーレイディスク(BDディスク)から内蔵HDDへはムーブバックのみとなります)。ダビングの詳細は本機の取扱説明書をご確認ください。
- 本機内蔵HDDに録画した番組をLAN接続されたデジタル録画機器へダビングすることはできません(i.Linkケーブルで接続した一部録画機器のみダビングが可能です)。
- LAN接続されたデジタル録画機器の内蔵HDDおよび外付けUSB-HDDに録画した番組を本機内蔵HDDにダビングすることができます。ダビングが可能な接続機器についてはお問い合わせください。
- 動作保証の外付けUSB-HDDについてはお問い合わせください(Panasonicのホームページでもご確認いただけます)。

■機器の取り扱いについて

- 本機の分解・改造は絶対に行わないでください。分解・改造が判明した場合は、機器損害金を請求いたします。また、故意での故障対応も同等とします。
- 本機をご解約される場合は、解約費用が発生し、ただちに本機と付属品をご返却いただけます。ご返却がない場合は、機器損害金を請求いたします。

■無線LANについて

- 本機はホームネットワーク機能を搭載し、サーバとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。各機器との接続はLANケーブルまたは無線LANで接続してください。ホームネットワーク機能を利用した録画・再生は、有線での接続をおすすめします。無線LAN接続での動作は保証していません。
 - 別途、本機との接続に対応したアクセスポイント(無線ブロードバンドルータ)が必要です。
 - IEEE802.11n(2.4GHz / 5GHz同時使用可)のアクセスポイントをお選びください。無線LAN接続に関しては、電波状況により接続できない場合があります。その場合は有線で接続してください。
 - アクセスポイントは、WPS対応であることを確認してください(WPSに対応していない場合は、設定の際にアクセスポイントの暗号キーが必要となります)。
 - 通信内容の傍受、不正利用、なりすまし等を防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化設定)を行ってください。
 - アクセスポイントの無線方式を切り換えた場合は、無線LANで接続できていた機器(パソコン等)が接続できなくなる場合があります。
 - 電波障害が発生する場合がありますので、電波を使う機器から離してご利用ください(例:電子レンジ等)。
- 詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

4K-STB(セットトップボックス) 重要確認事項

■録画について

- 当社は、お客様に貸与した「4K-STB(セットトップボックス)」(以下、本機)で外付けUSB-HDD(ハードディスク)(以下、外付けUSB-HDD)を利用して、録画・録音された内容が消失した場合、機器や放送の不具合等、いかなる場合であっても一切の補償をいたしません。
- 外部機器(LAN、外付けUSB-HDD等)は、お客様にて準備・接続・設定をお願いします。当社にて設定をご希望される場合は、有料となります。
- 外付けUSB-HDDを本機に接続して録画用として登録すると、本機の外付けUSB-HDDとしてフォーマット(初期化)しますので、それまで外付けUSB-HDDに保存していたデータはすべて消去されます。
- ご解約の際には当社および当社が指定する業者より、本機を撤去・回収いたします。また、故障の際には本機を交換する場合がございます。本機を回収、交換した場合は、外付けUSB-HDDに記録された内容は消失いたします。また、転居後継続してご契約いただける場合についても本機の交換が必要な場合は、外付けUSB-HDDに記録された内容は消失いたしますのでご了承ください。
- 「デジタルコピー不可」の番組は録画できません。
- 「1回だけデジタルコピー可能」の番組を外付けUSB-HDDに録画した場合、ホームネットワーク対応機器へのムーブは可能ですが、ダビングすることはできません。
※録画内容を恒久的に保存したい場合は、記録メディア等に保存することをおすすめします。
- 「ダビング10可能」な番組を外付けUSB-HDDに録画した場合、ホームネットワーク対応機器にはダビング9回ムーブ1回が可能です。LAN接続可能な機器についてはお問い合わせください。
- LAN録画を実行する場合は、有線LANでのネットワーク接続をご使用ください。無線LANまたはPLCでのネットワーク接続では、LAN録画が正常に実行されない場合があります。また、無線LANまたはPLCでのネットワーク接続では、本機とホームネットワーク対応機器を直接有線LANで接続すると、インターネットに接続できません。ルータあるいは中継器経由でホームネットワーク対応機器と有線LANで接続してください。

■4K放送の視聴および録画について

- 4K放送は複数同時に視聴、録画はできません。
- 外付けUSB-HDDにて4K放送の録画が可能です。4K放送は、LAN接続した録画機器でのLAN録画、外付けUSB-HDDからLAN接続した録画機器へのLANダビングは行えませんのでご注意ください。

■機器の取り扱いについて

- 本機の分解・改造は絶対に行わないでください。分解・改造が判明した場合は、機器損害金を請求いたします。また、故意での故障対応も同等とします。
- 本機をご解約される場合は、解約費用が発生し、ただちに本機と付属品をご返却いただけます。ご返却がない場合は、機器損害金を請求いたします。

■無線LANについて

- 本機は無線LAN(Wi-Fi)クライアント機能を内蔵しています。
 - ホームネットワーク機能を利用した録画・再生は、有線での接続をおすすめします。再生には適切なソフト、アプリをご利用ください。
 - 本機と他の無線機器との接続環境によっては、通信速度が遅くなる場合があります。
 - ご契約内容により、接続方法や設定内容が固定されていることがあります。
 - 本機を無線LANネットワークに接続(本機の設定:「クライアント」)にする場合、対応した無線LAN親機となるアクセスポイント(無線ブロードバンドルータ)が必要です。
 - アクセスポイントは、WPS対応であることを確認してください(WPSに対応していない場合は、設定の際にアクセスポイントの暗号キーが必要となります)。
 - 通信内容の傍受、不正利用、なりすまし等を防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化設定)を行ってください。
 - アクセスポイントの無線方式を切り換えた場合は、無線LANで接続できていた機器(パソコン等)が接続できなくなる場合があります。
 - 電波障害が発生する場合がありますので、電波を使う機器から離してご利用ください(例:電子レンジ等)。
- 詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

ケーブルプラスSTB・ケーブルプラスSTB-2 重要確認事項

■録画について

- 当社は、お客様に貸与した「ケーブルプラスSTB」・「ケーブルプラスSTB-2」(以下、ケーブルプラスSTB)で外付けUSB-HDD(ハードディスク)(以下、外付けUSB-HDD)を利用して、録画・録音された内容が消失した場合、機器や放送の不具合等、いかなる場合であっても一切の補償をいたしません。

【すべての金額は消費税込の価格です。請求金額は税抜価格の合計から税率乗算して小数点以下を切り捨てて計算します。】

- 外部機器(LAN、外付けUSB-HDD等)は、お客様にて準備・接続・設定をお願いします。当社にて設定をご希望される場合は、有料となります。
 - 外付けUSB-HDDをケーブルプラスSTBに接続して録画用として登録すると、ケーブルプラスSTBの外付けUSB-HDDとしてフォーマット(初期化)しますので、それまで外付けUSB-HDDに保存していたデータはすべて消去されます。
 - ご解約の際には当社および当社が指定する業者より、ケーブルプラスSTBを撤去・回収いたします。また、故障の際にはケーブルプラスSTBを交換する場合がございます。ケーブルプラスSTBを回収、交換した場合は、外付けUSB-HDDに記録された内容は消去される場合があります。
 - 「デジタルコピー不可」の番組は録画できません。
 - 「1回だけデジタルコピー可能」の番組を外付けUSB-HDDに録画した場合、ホームネットワーク対応機器へのムーブは可能ですが、ダビングすることはできません。
※録画内容を恒久的に保存したい場合は、記録メディア等に保存することをおすすめします。
 - 「ダビング10可能」な番組を外付けUSB-HDDに録画した場合、ホームネットワーク対応機器にはダビング9回ムーブ1回が可能です。LAN接続可能な機器についてはお問い合わせください。
 - LAN録画を実行する場合は、有線LANでのネットワーク接続をご使用ください。無線LANまたはPLCでのネットワーク接続では、LAN録画が正常に行われない場合があります。また、無線LANまたはPLCでのネットワーク接続では、ケーブルプラスSTBとホームネットワーク対応機器を直接有線LANで接続すると、インターネットに接続できません。ルータあるいは中継器経由でホームネットワーク対応機器と有線LANで接続してください。
- 4K放送の視聴および録画について
- ケーブルプラスSTB-2については、外付けUSB-HDDにて4K放送の録画が可能です。4K放送のLAN接続した録画機器でのLAN録画、外付けUSB-HDDからLAN接続した録画機器へのLANダビングは行えませんのでご注意ください。
- 機器の取り扱いについて
- ケーブルプラスSTBの分解・改造は絶対に行わないでください。分解・改造が判明した場合は、機器損害金を請求いたします。また、故意での故障対応も同等とします。
 - こまどり ケーブルプラスSTBサービス・こまどり ケーブルプラスSTB-2サービスをご解約される場合は、解約費用が発生し、ただちにケーブルプラスSTBと付属品をご返却いただきます。ご返却がない場合は、機器損害金を請求いたします。
- 無線LANについて
- ケーブルプラスSTBはホームネットワーク機能を搭載し、サーバとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。各機器との接続はLANケーブルまたは無線LANで接続してください。無線LAN接続での動作は保証してません。
 - ホームネットワーク機能を利用した録画・再生は、有線での接続をおすすめします。無線で接続する場合は、ケーブルプラスRemoteのご利用をおすすめします。
 - ケーブルプラスSTBと他の無線機器との接続環境によっては、通信速度が遅くなる場合があります。
 - ご契約内容により、接続方法や設定内容が固定されていることがあります。
 - ケーブルプラスSTBを無線LANネットワークに接続(本機の設定:「クライアント」)にする場合、対応した無線LAN親機となるアクセスポイント(無線ブロードバンドルータ)が必要です。
 - アクセスポイントは、WPS対応であることを確認してください(WPSに対応していない場合は、設定の際にアクセスポイントの暗号キーが必要となります)。
 - 通信内容の傍受、不正利用、なりすまし等を防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化設定)を行ってください。ケーブルプラスSTBには、標準でセキュリティ(ウイルスバスター)が設定されていますので、設定を無効にせず、そのままご利用いただくことをおすすめします。
 - アクセスポイントの無線方式を切り換えた場合は、無線LANで接続できていた機器(パソコン等)が接続できなくなる場合があります。
 - ネットワークの接続構成を変更すると、重要な最新ファームウェアへの更新ができなくなったり、設定変更が行えなくなったりする可能性があるため、変更は行わないでください。お客様で接続構成等、変更を行った場合は動作保証できません。
 - 電波障害が発生する場合がありますので、電波を使う機器から離してください(例:電子レンジ等)。
詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

【すべての金額は消費税込の価格です。請求金額は税抜価格の合計から税率乗算して小数点以下を切り捨てて計算します。】